

会 議 録

会 議 の 名 称	第 6 回浮き城のまち景観賞審査委員会（第 2 回）
開 催 日 時	平成 23 年 12 月 2 日（金） 開会：午後 1 時 00 分 閉会：午後 4 時 10 分
開 催 場 所	産業文化会館 2A 会議室
出席者（委員） 氏 名	白 井 裕 泰 関 口 進 関 口 正 昌 滝 沢 布 沙 宮 本 伸 子 横 山 典 子 (五十音順・敬称略)
欠席者（委員） 氏 名	大 槻 淳 一
事 務 局	まちづくり推進課 岡村課長、金子主査、横倉主事
会 議 内 容	① 議 事 ・ 現 地 審 査 ・ 最 終 審 査 ・ 受 賞 作 品 決 定
会 議 資 料	① 次 第 ② 委 員 名 簿 ③ 現 地 審 査 行 程 表 ④ 規 約 等 一 式（前 回 資 料） ⑤ 受 賞 作 品 写 真（前 回 資 料）
そ の 他 必 要 事 項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>白井委員長</p> <p>宮本委員</p> <p>横山委員</p> <p>関口委員</p> <p>滝沢委員</p>	<p style="text-align: center;">～ 開 会 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 白井委員長あいさつ ○ 事務局説明 <ul style="list-style-type: none"> 本日の日程、及び最終審査の内容について説明。 ○ 議事 <ul style="list-style-type: none"> 現地審査（産業文化会館→古鉄道レール橋→水城公園→忍城三階櫓→池守の星川→利根産業株式会社→十万石行田店→産業文化会館） （産業文化会館 2A 会議室にて） <ul style="list-style-type: none"> ・これより最終審査として一人2作品を推薦していただくが、その前に現地を回ってみての感想を、一人ずつ順に伺いたい。 ・「行田の景観」としてどれも甲乙付けがたいと感じた。ただ、十万石行田店については改修中ということで、今回の審査対象としてはどうかと感じた。利根産業については、敷地内から見られると良かった。水城公園は「冬の景色」といった感じであったが、景観というのはそのときの景色によって左右されることを感じ、難しいと思った。 ・いつも外から見ている感じと、実際現地で審査をした感じが随分違うものだと思った。また、どの視点からの景観で考えればいいのか考えている。例えば忍城三階櫓は、少し離れて全体を見る場合と、近くを歩いて見る場合とでは雰囲気も違ってくるので、その辺りを含めての景観ということで評価したいと考えている。 ・古鉄道レール橋は、行田には稀な構造物であると思う。水城公園については、ベンチという1つの視点から見たもので、配慮されたところだと感じた。忍城三階櫓は、周辺を含めて整備維持されていると思う。星川は、写真で見る印象と現地を見た印象が違い、行田の自然景観としては稀なところだと感じた。利根産業は、写真ではもっと新しく感じたが、実際に見ると重厚感を感じた。十万石については、工事中だったが店内もシックで、見えている柱にも歴史を感じた。 ・本日はとても寒かったが、このような天気でも新たな印象も感じた。古鉄道レール橋は改めてみると面白かったが、レールの持つ物語性のようなものが何かあればと思った。水城公園は、

<p>関根委員</p>	<p>年々深みを増していくと感じた。忍城は、現在の市の流れからしても、私としてはトップではないかと感じている。改めて見ると、建造してから年数が経ち、味わいが出てきていると感じた。星川は良かったが、ゴミが余りに多すぎると感じた。景観賞に相応しい手入れの仕方があると思う。利根産業については荒れている印象を受けた。十万石は工事中であり、宮本委員同様に、今回の審査対象としてはどうかと思った。</p>
<p>白井委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の中では行田に一番縁の薄い者として、外から行田に足を踏み入れた際に、「来て良かった」、「見て感動した」といった視点から回らせていただいた。川や自然に近い公園は、自分の育ったところや行ったことのある場所と比較してしまい、感動が少なかった。建物は、基本的にはそこにしかないものであり、人工物の方が意外と心を動かされる場所があると思った。 ・今回6点審査作品がある。古鉄道レール橋は建築物であるが、橋だけでなく周りを含めてのレール橋と考えると、建築物が3点、自然景観が3点となる。水城公園は新しく作り変えた公園であろうが、色々と見所があって面白いと感じた。逆に星川は全くの自然であり、現在までよく残っていると思うが、いつまで維持できるかという将来的な問題はあるだろう。古鉄道レール橋も同様で、レール橋そのものは文化財的な価値もあるだろうが、いつまで残せるかと思う。十万石行田店は相当古い建物と思うが、今回の改修でその古さがなくなったのは残念だと感じた。景観を考えるときに、その古さを考えることも価値のひとつであると思う。忍城三階櫓については、今後の行田を象徴するような存在になっていけばいいと思った。 ・それでは、これから作品を推薦していただくが、投票に入る前に規約等一式の5ページを見ていただきたい。実施要領第5審査の6で、「審査委員が景観賞審査対象作品に関与している場合は、審査に参加しないものとする」と規定されている。ここでいう審査とは、投票において当該作品を推薦する投票権を意味している。本規定に基づいて、審査対象作品と我々審査委員の関係について確認させていただくが、どなたか審査対象作品に関わっている方はいらっしゃるか。 <p>(関与なし)</p>

白井委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それではどなたも関与していないということで、投票に移りたいと思う。まずは事務局が投票用紙を配布し、記入方法を説明する。 （事務局説明→推薦票記入）
白井委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、これより事務局が用紙を回収する。集計の間、5分程度休憩とさせていただきます。 （結果集計→集計結果配布）
白井委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局より結果の配布があった。ご覧のとおり、1番は水城公園と忍城三階櫓が5票ずつ、古鉄道レール橋と利根産業が1票ずつとなった。水城公園と忍城三階櫓が最有力と思われるが、ここで一人ずつ順に、選定理由をお伺いしたい。
宮本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水城公園と三階櫓が素晴らしいのは分かっているが、これから行田市が色々な形で外に情報を発信していく中で、多面的な方がいいと思い、今まで色々な場面で選ばれていないものを今回は選ばせていただいた。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・忍城三階櫓は、建築物としてはどうかと思っていたが、審査で周りを歩いてみると、景観賞審査基準の、「美しいまちづくりの視点」の「良好な都市空間形成によりまちのモデルとなっている」、「水や緑などを導入し、地域にうるおいや親しみを与えている」、また「行田らしさの視点」を見ても、これらの要素を兼ね備えていると改めて感じた。水城公園についても、「美しいまちづくりの視点」と、市民に長く親しまれていること、また今後も維持できるであろうということを踏まえて選んだ。
関口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水城公園については人が集まり、休めるところからの景観を意識していると思う。景観という中には、その視点や人のふれあいが重要であるが、その点でも非常に良かったと思う。また造園をやっている人にとっては、こういう景色を作りたいのだろうと思った。忍城三階櫓は、建物そのものだけでなく、周辺が綺麗に整備されている。種々のイベントなどもあり、行田を代表するものだと思う。
滝沢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・忍城三階櫓については、丸というより花丸であると感じた。もう1点については選ぶのにかなり悩んだ。どういう方向付けで選ぶべきか迷ったが、水城公園を半丸ということで選んだ。ここは以前沼地だったという話もあったので、その原風景も少し

<p>関根委員</p>	<p>欲しいと感じた。そういった要素があると、一つ物語が加わってよりいいのではと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先ほど話したとおり、「行田市外の人間が足を踏み入れたときにどう感じるか」という視点で見てみたが、曲がり角を曲がって櫓が見えたときのインパクトという意味で、忍城はやはり良いと思った。また水城公園については応募写真の場所ではなく、大通り方面から北上すると池があり視界が開けるが、そのインパクトが良いと思う。今後この賞を続けることを考えると、この2つは選ぶ時だろうということで、あまり迷わずに決めた。レール橋や星川は身近にあればいいと感じるのかもしれないが、今回はインパクトの強さで選んだ。
<p>白井委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 建築物と自然景観の両方を出来れば選びたいと考えていた。水城公園は、実施要領の「良好な景観の形成上特に優れていると認められる公園」とあり、これに正に合致すると感じた。忍城三階櫓は、歴史的な価値はともかく、景観的に見て行田市を代表する建築物になっていくだろうし、浮き城のまちと言っているのだから、表彰されることが自然ではないかと感じた。実施要領を見ても、「周辺環境の向上と景観上の調和を図った建築物等」という点、「植栽など一体的に美観形成を図り」という点、「都市空間を効果的に利用し」という点、「建築物自体の美しさを造形意匠上効果的に表現」している点など、全ての項目に該当しており、これまで表彰されていないのが不思議だと思う。実際には存在しなかったものであるとか、そういう議論はあったようだが、景観として見るべきということで、今回是非とも入れたいと考えた。 以上で皆さんの選定理由を一通りお伺いした。票を見ても明らかだが、水城公園、忍城三階櫓が5票ずつということで、この2つを受賞作品としたいが、異議はないか。 <p>(異議なし)</p>
<p>白井委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> それでは、第6回浮き城のまち景観賞受賞作品は、水城公園と忍城三階櫓とする。 最後に総評として述べさせていただく。今回で6回目ということだが、ようやく本命が決まったのではないかといった感想である。行田市を代表するような景観がこれまで何故選ばれなか

司 会	<p>ったのか分からないが、この2つが選定されて私としてはほっとしている。市民も行田市を代表する景観だと感じていると思う。今回の委員会で、受賞作品として決定することができて良かったと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none">・以上をもって議事は全て終了となる。事務局にお返しする。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none">・司会より、今後の予定等について説明し終了。 <p style="text-align: center;">～閉 会～</p>
-----	---